


**海外感染症情報**

情報源：  
厚生労働省検疫所ホームページ  
(<http://www.forth.go.jp>) 新着情報

発生地域	更新年月日	情報内容
東南アジア	2014年05月20日	鳥インフルエンザ A(H5N1) に感染した患者の発生状況について（更新4）★
—	2014年05月20日	インディアナ州 MERS 患者との接触者（イリノイ州）で MERS コロナウイルス試験が陽性となりました
—	2014年05月19日	中東呼吸器症候群（MERS）の発生状況について（更新27）
大洋州	2014年05月19日	トンガ王国でチクングニア熱が流行しています

### ★【2014年05月22日更新 鳥インフルエンザ A(H5N1)に感染した患者の発生状況について（更新4）】

世界保健機関（WHO）の情報によりますと、鳥インフルエンザ A(H5N1) ウイルスに感染したと確定診断された患者は、2003年から2014年5月5日時点で、15か国から665人が公式報告されています。このうち392人が死亡しています。

WHO は、鳥インフルエンザ A(H5N1) に感染したと確定診断された患者が、2014年3月24日の最終更新日以降、インドネシアジャワ島中部（Central Java）から新たに1人（2歳男児）が発生したとの報告を受けました。この患児が発症する前の数週間の期間、裏庭の鶏（複数）が自宅周辺で死んでいました。これは、2014年インドネシアから報告された最初の H5N1 のヒト症例ですが、鳥インフルエンザ A(H5N1) ウイルスが家きん（家畜として飼育される鳥）の間でいまだ循環しているため、予期外ではありませんでした。

家きんの間でインフルエンザウイルスが循環している時は、特に家で飼育されている感染した家きんや、汚染された環境に暴露する人々の中で散発例や小規模の集団発生が発生する可能性があります。しかし、現在のところ、このインフルエンザ A(H5N1) ウイルスは人の間で効率よく感染せず、このウイルスが地域レベルで拡大するリスクは依然として低いままです。

患者が発生している地域に滞在する方は、鳥がたくさんいる場所で鳥に直接接触ったり、病気の鳥や死んだ鳥に近寄ったりしないようにしましょう。